

第3回理数系教員養成拠点構築プログラム 成果報告会およびCSTの集いに参加して

平成26年12月27日(土) 大阪教育大学

土佐市教育委員会 吉本真里

年末のにぎわいを感じる大阪へ高知県教育委員会の井上さん、高知大学の草場先生と一緒にってきました。シンポジウムでは「土佐市における理科教育の推進～地域におけるCST活動の広がりをめざして～」と題してポスター発表を行いました。JSTからの支援終了後の活動継続および広がりについて興味を持たれる方が多く、意見交換をしながら発表させていただき、とても良い経験になりました。

分科会の内容について簡単ですが報告させていただきます。

分科会1 CSTによる教員研修(小学校編)

- *研修の成果は理科の授業や実験に関わる技能の向上や大学をはじめとする専門的な方々との人脈をつくることができた。
- *課題としては、CSTの認知度が依然低いこと。しかし、今後も自主研修や公開授業を続け、広げていく。また、市町村委員会は校長会等で周知するなど委員会にもバックアップしてもらいたい。
- *研修後の課題として、理科専科の配置等で理科の授業を持つ機会がないなど、学んだことが活かしていないとの意見もあった。

分科会2 CSTによる教員研修(中学校編)

- *成果は中学校CSTが小学校の支援に行っている。また、人材のネットワークが広がり、CSTへの様々な要望にたいして、協力し合って対応できるようになった。
- *課題は小学校CSTがまだ少ないこと。また、中学校CSTが小学校へ行く旅費や、職場を離れやすい環境(人件費)。これについては、府県レベルで対応が必要
- *学生CSTからは、教育実習では学べないこともプログラムを通して学ぶことができたとの意見もあった。

分科会3 CST事業の継続方法について

- *研修の取り組みに都道府県で差がある。
- *CST認定者名簿を県から各校長に配付し、研修等で活用している県もある。
- *今、活躍しているのは現職CSTだが、10年先を見て学生CSTを気長に研修していくことも大切。

分科会4 CST事業による地域の理科教育の活性化にむけて

- *CSTの公開授業(自主研修を含む)を土曜日に実施している香川県から土曜活用の提案。土曜であれば学生CSTも参加できる。
- *活性化のための連携について。小・中・高の連携では教材研究を一緒に教材研究を行っている紹介があった。また、市と市をつなぐネットワークをどう構築していくかについて、高知CST協会の紹介も行った。
- *CST以外の理科に関心のある先生もCSTネットワークに入れるようにしてみたらどうか。